健康へのメッセージ

シリーズ116

副腎の病気

東陽病院　院長　伊藤　文憲

光町の皆さんこんにちは。前回まで腎臓について述べましたが、今回はその隣にある副腎についてのお話をします。名前のとおり、副腎は左右の腎臓に頭側に存在している5～6gの小さな臓器です。しかし小さいとはいえ全身に影響するホルモンを分泌する重要な臓器です。副腎は90％の皮質が10％の髄質を取り囲んだ形で構成されており、それぞれ特有の内分泌ホルモンを産生・分泌しています。

最初に副腎皮質についてお話しします。皮質では水分や電解質の代謝に関係するアルドステロン（AL）、糖分の代謝や免疫、ストレスの防御に関するコルチゾール（COR）、思春期に分泌が更新し、年齢とともに低下する性ホルモン（アンドロゲン：AND）が主に分泌されています。副腎は豊富な血流があり、また離れた頭部の大脳の内にある視床下部と下垂体という臓器からの遠隔コントロールを受けており、特に慢性のストレス下ではCORを最大限に合成分泌して生体を守るような働きがあります。また、ALは前回話した腎臓のネフロンを構成する糸球体の近くの組織から分泌されるレニンにより調節を受けており、副腎は小さな臓器ですが全身と密接な関連を持っています。

それぞれの過剰・欠乏により病気になります。AL過剰は原発性アルドステロン症としてコントロールの困難な高血圧や著明な低カリウム血症により手足の麻痺する周期性四肢麻痺などを起こします。CORの過剰は糖尿病や超肥満、骨粗鬆症などを起こします。これらは副腎皮質の組織が部分的に過形成や腫瘍性の変化（腺腫や癌腫）を起こしてホルモンを過剰に産生するために生じます。血液中のホルモン値の上昇がみられたら、腹部超音波検査やCT検査を行います。副腎に病変が認めた時には、血管造影検査と局所のホルモンの直接測定により確定診断をして外科的な切除となります。

ホルモンが欠乏すると、低血圧、色素沈着、性機能不全などが起こります。稀にみられる急性副腎不全は副腎の機能低下が急速に起こり、全身倦怠感や脱力感、嘔吐、下痢、意識障害を呈しショックから死亡のおそれのある重篤な疾患です。十分な補液による電解質の補正と不足する副腎ホルモンの投与が必要です。

つぎに、副腎の髄質部分について述べます。髄質は循環に関連するホルモンを産生する臓器で、アドレナリンやドーパミン等のカテコールアミンが分泌されます。これらは自律神経系のなかの交感神経系に重要な役割を持ち、生体の恒常性の維持に重要な役割を担っています。過剰分泌が問題です。髄質の腫瘍である褐色細胞腫はカテコールアミンを発作性に産生して急激な血圧の変動をきたし脳出血や心不全の原因となります。腫瘍の局在を正確に診断した後に外科的な切除が必要です。

※東陽病院の休日当番日
8月17日(日)・31日(日)　午前8時30分～午後6時
医師2名が待機・来院の際は電話を　☎(84)1335

映画会のお知らせ

※整理券は、図書館カウンターで配布します。

作品名	日時	定員	場所	整理券配布日
・終戦企画「はだしのゲン２」	8月15日(金) 午前10時	各回120名	町立図書館 ハイビジョンホール（２階）	8月2日(土)
・鬼来迎特別企画「全記録鬼来迎」	8月16日(土) 午前10時			8月2日(土)
・夏休みスペシャル映画「うしろの正面だあれ」	8月30日(土) 31日(日) 各午前10時			8月16日(土)

ほんの森
＝町立図書館＝
☎(84)3311

開館延長のお知らせ

8月は平日午後7時まで開館します。（土・日曜日は通常どおり午後6時までとなります。）どうぞご利用ください。

第2回IT講習会

パソコンの初心者を対象とした、第２回ＩＴ講習会を開催します。

日程　8月28日、9月4日、11日、18日、25日の毎週木曜日（午後１時30分～４時30分）
会場　図書館２階学習室
対象者　町内在住・在勤者で５日間受講できる方。昨年度に受講していない方を優先します。
定員　20名
申込み　8月12日(火)から図書館で受付します。定員になり次第締め切ります。
その他　受講料は無料。テキスト代は実費。

※次回以降開催予定講座
①エクセル講座（10月頃）
②年賀状作成講座（12月頃）

休館日　8月11日(月)、18日(月)、25日(月)、9月1日(月)、2日(火)